

プロテクトン

PROTECTON®

ホルムアルデヒド放散等級

F☆☆☆☆

フロア VKクリヤー

水性2液形床用抗ウイルスクリヤー塗料

ウイルスに、**備えをON**


新世代ペイントテクノロジー [プロテクトン]

抗ウイルス
抗菌



NIPPON PAINT CO., LTD.

Basic & New



まもるべき未来のために、
そのペイントテクノロジーは生まれた。
[プロテクトン]

ウイルスとともに生きる。そうと言われる時代に、人びとの健康をまもりたい。安全で快適な未来をつくっていききたい。そのためにペイントは、従来の概念を超えるイノベーションが必要でした。

日本ペイントグループが新たに開発した[プロテクトン]。

例えば、銅の働きにより、塗膜表面に付着したウイルス・菌を抑制するアンチウイルス機能を実現。今後、塗料製品にとどまらず、あらゆるシーンにお応えできるよう形を変えて広がっていきます。プロテクトン、そのテクノロジーは進化しつづける。

リスクに備えるために。あなたの新しい日常に寄り添い、たいせつな人をまもるために。

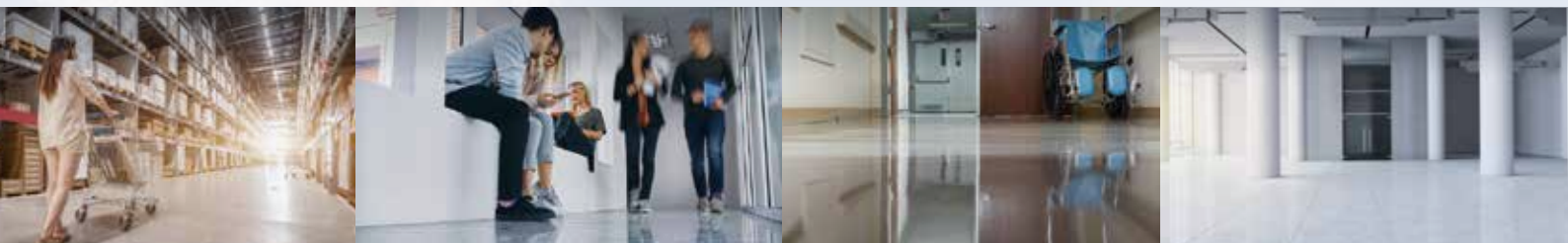
塗膜表面に付着したウイルス・菌99%*抑制。

*全てのウイルスや菌あるいは特定のウイルスや菌に対する効果を保証するものではありません。

また、病気の予防や治療効果を示すものではありません。

*室内の空気中のウイルスや菌を抑制するものではありません。

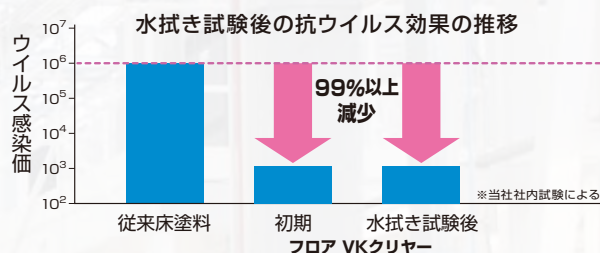
 **日本ペイントグループ**
Basic & New



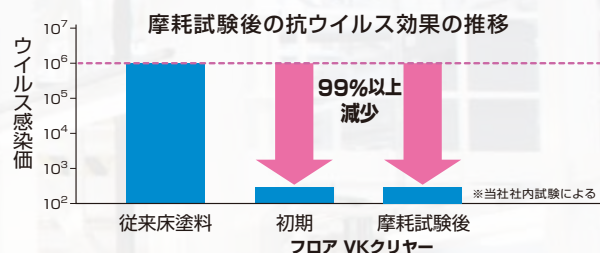
塗るだけで、塗膜表面に付着したウイルスや菌を抑制

抗ウイルス・抗菌性

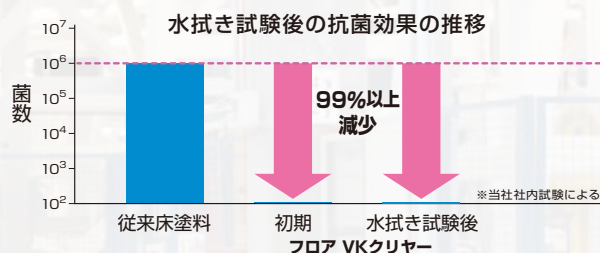
銅の動きにより、塗膜表面に付着したウイルスや菌を抑制する機能を発現します。
耐久性に優れており、清掃時の水拭き後や、歩行や車両タイヤによる塗膜摩耗後も、初期状態と変わらず、99%以上のウイルス・菌減少を確認しました。



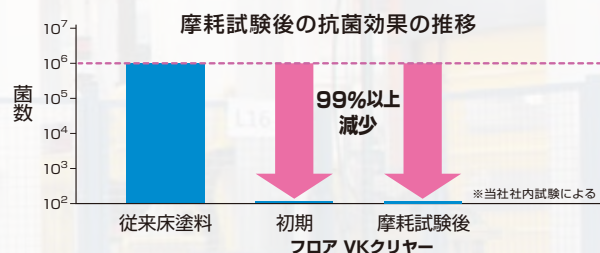
【抗ウイルス試験条件】
ISO 21702 に準拠し、塗膜試験片にウイルス液を滴下し、24 時間後のウイルス感染価を測定。
ウイルス種：A 型インフルエンザウイルス
※水拭き試験は、水にぬらした布で荷重 40kg / m² で 1000 往復実施。



【抗ウイルス試験条件】
ISO 21702 に準拠し、塗膜試験片にウイルス液を滴下し、24 時間後のウイルス感染価を測定。
ウイルス種：A 型インフルエンザウイルス
※摩耗試験は、日本塗理床工業会試験方法 NNK-004 2006 を参考に実施。



【抗菌試験条件】
JIS Z 2801 に準拠し、塗膜試験片に菌液を滴下し、24 時間後の生菌数を測定。
菌種：大腸菌
※水拭き試験は、水にぬらした布で荷重 40kg / m² で 1000 往復実施。



【抗菌試験条件】
JIS Z 2801 に準拠し、塗膜試験片に菌液を滴下し、24 時間後の生菌数を測定。
菌種：大腸菌
※摩耗試験は、日本塗理床工業会試験方法 NNK-004 2006 を参考に実施。

フロア VK クリヤー塗膜上では、大腸菌の増殖を抑制できることが確認されました



【試験条件】試験板に大腸菌液を滴下後、温度 37℃ 環境下で 24 時間静置。メチレンブルーを用いて菌を染色し、光学顕微鏡を用いて表面を観察。
※試験結果はいずれも社内試験で得られたものであり、実環境における効果を保証するものではありません。

■ 適用 下 地 (内 部 ・ 準 外 部)

コンクリート・モルタル・磁器タイル・各種既存塗膜下地

※アスファルトには適用できません。
※磁器タイルは種類により付着しないものがあるため、不明な場合は事前にテストを行い、付着性を確認してください。
※準外部および、水ぬれする環境においてはすべりやすくなりますので、必ず防滑仕上げで施工してください。

■ 用 途

一般工場、店舗・事務所、通路・廊下・階段、倉庫・配送センターなど
抗ウイルス・抗菌対策が求められる屋内および準外部床面に最適

※外部への適用は営業までご相談ください。

■ 塗 膜 性 能

試験項目	規 格	社内試験
抗ウイルス性	フィルム密着法によるウイルス感染価測定 (ISO 21702) に基づく)	合格
抗菌性	フィルム密着法による菌数測定 (JIS Z 2801) に基づく)	合格

■ 荷 姿 ・ 塗 料 性 状

容量(セット)	塗料液:2.5kg 硬化剤:0.25kg 床クリヤー用付着強化剤:25g
色 相	塗料液:淡青緑色クリヤー 硬化剤:無色 床クリヤー用付着強化剤:無色
つ や	つや有り
混 合 比	塗料液 : 硬化剤 = 10 : 1
ポットライフ	(5℃)2時間 (23℃)2時間 (30℃)1時間
1セットあたりの塗装面積	平滑/防滑仕上げ:17~27.5m ² /回 タイル生地(平滑/防滑)仕上げ:30~55m ² /回

※2液形塗料は、塗料液と硬化剤の混合比を必ず守り、ポットライフ以内に使用してください。(硬化剤の過不足やポットライフ以降の使用は、塗膜性能に悪影響を及ぼします。)
※新設コンクリート生地仕上げ仕様、磁器タイル生地仕上げ仕様の防滑仕上げの場合は、1セットあたりクリンカラー防滑骨材を77g(付属スプーンすり切り5杯) 添加してください。
※磁器タイル面に塗装される場合は、1セットあたり床クリヤー用付着強化剤を1本(25g) 添加してください。

PROTECTON® フロア VKクリヤー

■ 標準塗装仕様例

● 新設コンクリート生地仕上げ仕様

仕上げ	塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤(希釈率)	塗装方法
平滑仕上げ	素地調整	新設コンクリート・モルタルは夏季30日以上、冬季40日以上養生させ、表面のpHが10以下、含水率が10%以下(ケット科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科学社製H500シリーズで測定した場合)になってから施工してください。表面のレタンスや不純物は完全に取除いてください。					
	クリヤー	PROTECTON®フロア VKクリヤー	1	0.10~0.16	—	—	はけ・短毛ローラー

*緻密仕上げのコンクリート(機械押入)や強化コンクリートには適用できません。

● 磁器タイル生地仕上げ仕様

仕上げ	塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤(希釈率)	塗装方法
平滑仕上げ	素地調整	タイル面を補修したのち水洗いをし、十分乾燥させてください。 塗装面に付着したごみ、よごれなど付着物は密着不良の原因となりますので入念に洗浄除去してください。 エフロレシスはスクレーパー、ワイヤブラシなどで削り落とし除去してください。 洗浄剤などを用いる場合は、洗浄剤塗付前に、タイル面に十分に水を含ませてください。(事前に水を含ませることで洗浄剤による塗膜への悪影響を抑えます。) 洗浄後は十分に水洗い、乾燥してください。その後、pH試験紙などを用い塗装面が中性であることを確認してから塗装してください。(pH6~8)					
	クリヤー	PROTECTON®フロア VKクリヤー ニッペ 床クリヤー用付着強化剤	1	0.05~0.09	—	—	はけ・短毛ローラー

注)大理石、鏡面仕上げタイル、金属光沢を有するラスタールタイル、はっ水処理を施した素焼きタイル、グラファイトを施したいふしタイル、れんがタイル・素焼き風タイルへの施工は避けてください。その他、特殊なタイル面への施工については、試験施工により確認してください。

● 各種既存塗膜の塗り替え

仕上げ	塗装工程	塗料名	塗り回数	使用量(kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間(23℃)	希釈剤(希釈率)	塗装方法
平滑仕上げ	下地処理	はがれかかった既存塗膜や付着不良の既存塗膜は完全にケレン除去してください。既存塗膜がウレタン系または種類が不明の場合、研磨紙P40~P100あるいはポリシヤー(ワイヤー)にて表面を研磨し目粗ししてください。ごみ、ほこり、油脂類は除去し清潔な面としてください。 表面にワックスがある場合は水性ワックス用は、離剤でよく離し、水洗いを十分に乾燥し清潔な面としてください。ひび割れ、巣穴、不陸などは、あらかじめエポキシ樹脂パテなどを充填し平滑にしてください。					
	上塗り	ニッペ クリンカラー-U水性*	2	0.13~0.17	3時間以上48時間以内	水道水(3~7%)	はけ・ローラー
	クリヤー	PROTECTON®フロア VKクリヤー	1	0.05~0.09	—	—	はけ・短毛ローラー

*上塗りには、ニッペクリンカラー-U水性を一例として記載しています。下地の状況や用途、適用する上塗りの種類により、各塗料の標準塗装仕様に準じて塗装してください。
PROTECTON® フロア VKクリヤーが適用可能な上塗り:ニッペクリンカラー-Aベストつや有、Wベストつや有、Wハードトップ、U水性、Uベスト、Eベスト、Eワン、E20コテ用(新)
適用外の上塗り:ニッペクリンカラー-Aベストつや消、Wベストつや消、E導電、E30導電、マークガード

注)既存塗膜がニッペクリンカラー-Uファイナや弾性塗床の場合は、PROTECTON® フロア VKクリヤーを塗装できません。既存塗膜の種類が不明な場合は、事前に試し塗りなどを行い、付着性を確認してください。
注)防汚仕上げの場合は、上塗り工程を骨材散布(紐砂6号または5号 0.05~0.30kg/m²)で防汚に仕上げた上に、PROTECTON® 707 VKクリヤーを塗装してください。

施工上の要点と注意事項 ※詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などにてご確認ください。

1. 塗料液と硬化剤を混合後の塗料については、必ず使い切るようにしてください。2. 塗料液と硬化剤の反応に伴い、炭酸ガス(CO2)が発生します。混合後の塗料を密閉容器に保管しますと、炭酸ガスにより、容器内の圧力が高まることから、密閉容器への保管は避けてください。特に高温になる環境(夏場・車内等)では炭酸ガスの発生が促進し、ふたが飛び等のおそれがあることから、絶対に避けてください。3. 本製品を混合後に、塗料が余り、容器に保管する必要がある場合は、混合から翌日まで、ふたをせす保管してください。
4. 万が一、混合後に密閉容器に保管してしまっ場合には、容器内部の圧力が上昇しているおそれがあります。容器のふたを開ける際、ガス圧力により塗料が飛散するおそれがあることから、ウエス等でふたを覆い、あらかじめガス抜きを実施した後、ふたを開けるようにしてください。5. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。6. 反応硬化タイプの塗料のため、使用後のはけなどはできるだけ早く水で洗浄してください。固まった場合は、すみやかにラッカーシンナーで洗浄してください。7. 大理石、鏡面仕上げタイル、金属光沢を有するラスタールタイル、はっ水処理を施した素焼きタイル、グラファイトを施したいふしタイル、れんがタイル・素焼き風タイルへの施工は避けてください。その他、特殊なタイル面への施工については、試験施工により確認してください。8. 目地部が深く、ローラーなどで入りきれない場合は、目地はけなどで塗装してください。9. 目地部の塗料が残りや被塗表面にダレを発生させる際は、目地はけ、ローラーなどでむら切りし、除去してください。10. ワックスを使用している床面は付着阻害を起すので、ワックス用はく離剤などで除去し水洗いを十分に乾燥後、塗装してください。11. 施工後、車両のタイヤ、ゴム長靴やコード類など可撓部を含むものを置くことと軟化し粘着性が生じますので、置かないでください。12. 厚く塗り過ぎると乾燥が遅れたり、ひび割れが入ったりしますので、厚付けに注意してください。13. 旧塗膜が何回も塗り重ねられていた場合、塗膜全体が柔らかくなっている場合があります。この場合、そのまま塗り重ねると塗膜の物性差によって塗膜割れが発生するおそれがありますので、旧塗膜をはく離してから塗装してください。14. 軽歩行者塗装後、4時間以上経過した後より可能ですが(23℃)、車両の走行は塗装後72時間が経過した後に行ってください。早期の使用は、塗膜がはがれたり、線跡、タイヤ跡などの不具合が生じます。15. アスファルト面への塗装は、割れやひびきが発生するおそれがありますので避けてください。16. 旧塗膜がエポキシ系、ウレタン系の場合は、ポリシヤー・サンダーで表面を目粗ししてください。17. 常時、水が溜まる箇所は傾斜をと、排水溝を設けるなどして、排水処理を行ってください。18. 常時水がかかる可能性のある場所、または水から塗膜の裏面から水分が回る可能性がある場所にはニッペクリンカラー-Eレジモルクリヤー(新)を使用した塗装仕方で塗装してください。19. 下地表面の油脂や汚れは溶剤などで十分に除去してください。20. 下地コンクリート表面のイタンス、エフロレシスなどの粉化物、ぜい弱部は十分に除去してください。ひび割れ、巣穴、不陸などがある場合、旧塗膜にはがれがある場合には、あらかじめエポキシ樹脂パテなどを充填するなど、段差修正や部分補修などを行い、平滑な面にしてから塗装を行ってください。21. コンクリート、モルタル等に塗装する際はぬれ色になる場合や、下地の状態により吸い込みむらになる場合があります。不安な場合は試験施工を実施して仕上がりをご確認ください。22. 生地仕上げの場合ひび割れ、巣穴、不陸をエポキシ樹脂パテ等で補修した箇所はそのままの外観となります。23. 塗り替え時で、旧塗膜が弾性の場合は使用しないでください。24. 旧塗膜の種類が不明な場合には必ず試験施工で適性を確認してください。塗り替えの際、旧塗膜の劣化状況や付着状況、または使用環境などによりシーラーレスタイプの塗料でもプライマーが必要な場合があります。25. クリンカラー-防汚骨材を配合した塗料はすみやかに使いきってください。長時間放置されますと骨材が沈殿もしくは浮いてきます。ご使用の際は、必ず使用量にあわせて割合し、使い切りとしてください。26. 施工に関する詳細な注意事項はクリンカラー-施工マニュアルをご参照ください。27. 抜け毛の少ない毛丈の短いローラーを選定し、施工してください。28. 工場での出入り口などの砂や砂利がタイヤで巻き込みやすい箇所は塗膜が摩耗しやすいとなります。29. 塗料は内容物が均一になるようによくかき混ぜてください。30. 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風の少ない場合は、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きで除去してください。31. 硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。32. 硬化剤は湿気で硬化しますので密閉して貯蔵してください。33. 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清潔な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。34. 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を溶剤剥離や縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認ください。35. 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科学社製H500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。36. 表面のごみ、ほこり、エフロレシス、レタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。37. 塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下することがあります。38. 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分にしてください。39. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分にを行い、火気厳禁にしてください。40. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。41. ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上がり感が異なって見えることがあります。42. 汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず覚えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。43. 塗装面以外に付着した場合は、乾燥するまでにラッカーシンナーまたは塗料用シンナーで洗い落とすようにしてください。44. ローラー、はけなどは、ほかに塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。45. 塗料漏洩の原因となりますので、保管・運搬時に容器を横倒ししないでください。46. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

安全衛生上の注意事項 [PROTECTON® フロア VKクリヤー]

横倒禁止

[PROTECTON® フロア VKクリヤー] ■詳細な内容、表示例以外の商品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

1. 取扱後は、手洗いおよびうがいを十分に行うこと。
2. 本来の用途以外に使用しないこと。
3. 口をすすぐこと。
4. 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
5. 塗料液/容器からこぼれた時には、砂などを散布して後処理してください。
硬化剤/容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管すること。
6. 施錠して保管すること。
7. 直射日光や水濡れは厳禁。
8. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとすること。
9. 内容物/容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄すること。

*上記の表示は一例です。容器の表示と異なる場合があります。

[ニッペ 床クリヤー用付着強化剤] ■詳細な内容、表示例以外の商品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

危険	危険有害性情報
	重篤な眼の損傷/(気道刺激性)呼吸器への刺激のおそれ 遺伝性疾患のおそれの疑い/生殖能又は胎児への悪影響のおそれ 長期継続的影響によって水生生物に有害

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎011-370-3101 近畿支店 ☎06-6455-9608
東北支店 ☎022-232-6712 中国支店 ☎082-281-2180
関東支店 ☎03-5479-3614 四国支店 ☎0877-56-2346
北関東信越支店 ☎03-5479-3614 九州支店 ☎092-751-9861
中部支店 ☎052-461-1960

- 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の商品名、ロゴマークは、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- Copyright © 2022 Nippon Paint Co., Ltd. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.

NP-Z149

AA220305T

2022年3月現在